

第2次東御市男女共同参画推進基本計画に基づく
令和8年度事業計画

【評価方法】 別紙を参照する
・(※1) 事業実績評価 …… 「A」～「D」もしくは「不」（評価不能）を記載
・(※2) 評価判断基準 …… ①～④をa～c(-)で評価（該当箇所に○を記入）
・(※3) 共同参画視点 …… 着目した視点番号をすべて記載（1～12）

資料 1

基本目標1 両性の尊重と性差別の根絶 ※推進基本計画P16から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和8年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 両性の尊重と男女の性に関する教育の推進	①互いの人格を尊重し合う社会実現の啓発 ②性差別に関する相談体制の充実	人権教育・人権学習の充実	学校などでの人権教育を推進するとともに、地域においても人権啓発学習等の活動を推進し、人権尊重のまちづくりを進めます。	教育課	各小中学校において人権同和教育を推進する。（校長会、教頭会、人権同和教育主任会、人権同和教育委員会） 各校の人権同和教育計画により実施する。（5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・各小中学校において、人権同和教育を推進した（校長会、教頭会、人権同和教育主任）。 ・各校の人権同和教育計画により実施した。 ・人権同和教育研修会、教職員の研修、授業の教材他を通して、人権同和教育の充実に努めた。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・人権同和教育研修会、教職員の研修、授業の教材他を通した人権同和教育の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1. 2. 3. 4. 5 . 10	計画・内容（数値目標） ・各小中学校において人権同和教育を推進する。（校長会、教頭会、人権同和教育主任会、人権同和教育委員会） ・各校の人権同和教育計画により実施する。（5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・学校ごと、人絹同和教育計画により実施する。
				人権同和政策課	人権尊重のまちづくり市民の集い、各種人権セミナーを開催する。 より多くの方が参加できるよう、平日の昼夜を中心に年6回開催	実績状況（数値実績） ・人権尊重のまちづくり市民の集い 開催日：12月6日（土） 会場：東御市中央公民館 来場者数：175人 ・東御市人権セミナーを6回開催 6月～11月（男女共同参画、インターネット、戦争と人権、災害と人権、部落差別、ハラスメント） 効果と課題 ・人権セミナーでは、土曜日昼間の参加者が伸び悩んだ。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 9. 10. 11	計画・内容（数値目標） ・人権尊重のまちづくり市民の集い、各種人権セミナーを開催する。 ・より多くの方が参加できるよう、平日の昼夜を中心に年6回開催 課題に対しての修正点 ・人権セミナーの開催日時の見直し。 ・より多くの方に参加していただけるように周知方法を工夫する。
		性教育の計画的実践	男女が自身の性を前向きにとらえ、自分らしく生きるための思春期健康教育などの学習を進めます。	健康推進課	県が講師となる学生の育成をできないため中止。	実績状況（数値実績） 効果と課題	不	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	—	計画・内容（数値目標） ・ブレコンセプションケアとして出前講座を追加しました。 男女問わず、性や妊娠、健康に関して正しい知識を持ち将来の健康やライフデザインについて一緒に考える機会とする。 課題に対しての修正点
				教育課	性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。 他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会） （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い理解する。他の教科と連携で学んだ。（家庭科、理科、保健体育、社会） ・性的マイノリティの人権について学んだ。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・他の教科（家庭科、理科、保健体育、社会）と連携した学習の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 10	計画・内容（数値目標） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。 ・他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会） （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・学校ごと、児童の成長に応じた性教育、人権教育の学習を実施する。
			社会環境の浄化	地域づくり支援課	青少年係補導委員が中心となり、市民会議役員の協力もいただきながら計画的に有害環境浄化活動（チェック活動）を実施する。	実績状況（数値実績） ・有害環境浄化活動（チェック活動）として、青少年市民会議・青少年補導委員により5地区で年3回（7月、11月、2月）の監視を行った。 効果と課題 ・監視の際、コンビニや大型店舗での状況調査を聞き取りにより実施することにより、事業者への環境浄化啓発に繋がっている。今後も取り組みを継続していく。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ (a) b c	1. 3. 4. 6. 9	計画・内容（数値目標） ・青少年係補導委員と市民会議役員が協力し、計画的に有害環境浄化活動（チェック活動）を実施する。 課題に対しての修正点 ・会議等を通じて情報共有を図る。
				人権同和政策課	人権よろず相談を毎月開設。（年12回） 女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 91件） ・女性弁護士相談開設 年 6回（相談件数 19件） 効果と課題 ・相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・様々な相談内容に対応できる体制の検討。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8	計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談を毎月開設。（年12回） ・女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回） 課題に対しての修正点 ・より多くの方が相談できるよう、開催日程を検討する。
		相談体制の充実	性差別に関する相談機能を充実します。人権相談、よろず相談及び日常的な相談受付。	子ども家庭支援課	引き続き相談体制の周知と対応を継続する。	実績状況（数値実績） ・子どもフェスティバルに子どもサポートセンターのブースを設け、子どもサポートセンターの取り組みを周知した。 ・近隣の高校に対して、子どもサポートセンターの相談支援体制を周知した。 効果と課題 ・こどもと家庭の相談窓口としての子どもサポートセンターが周知できた。	B	① a (b) c ② a b c (○) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 8. 10	計画・内容（数値目標） ・引き続き相談体制の周知と対応を継続する。 課題に対しての修正点

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（2）男女間のあらゆる暴力の根絶	①暴力根絶に向けた啓発活動の推進 ②家庭内暴力についての相談窓口の充実 ③暴力を受けた被害者に対する支援	暴力根絶のための啓発	ポスターの掲示等により男女の人権に対する意識の啓発に努め、男女間のあらゆる暴力の根絶のための意識啓発に努めます。	人権同和政策課	各課及び県等の関係機関との連携により、「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示や、チラシの配布を行うとともに、各種イベント等でもチラシの配布等を行う。	実績状況（数値実績） ・「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示やチラシの配布およびホームページ等への掲載を行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 4	計画・内容（数値目標） ・各課及び県等の関係機関との連携により、「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示や、チラシの配布を行うとともに、各種イベント等でもチラシの配布等を行う。
						効果と課題 ・各課及び学校等へチラシを配布をし啓発をした。				課題に対しての修正点
		相談体制の充実	男女間のあらゆる暴力や家庭内暴力の相談に迅速な対応ができるよう、県男女共同参画センター・県女性相談センター等の関係機関との連携を強化や弁護士相談を実施し、相談体制の充実を図ります。	福祉課	市の母子父子自立支援員及び女性相談支援員が関係機関との連携を図り相談の対応を行う。	実績状況（数値実績） ・庁内関係部署や県の女性相談支援センターと相談、連携して支援にあたったほか、法的は助言が必要なケースでは、弁護士相談等に同席し対応にあたった。 ・相談実績件数24件 ・ひとり親等無料法律相談会の開催（年3回）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	2	計画・内容（数値目標） ・市の母子父子自立支援員と女性相談支援員が関係機関と連携を図り相談対応を行う。
						効果と課題 ・困難事例が増加するとともにDV相談が多様化・複雑化する中、庁内連携はもとより各関係機関と連携、協力して対応にあたる事が早期解決の糸口となった。				課題に対しての修正点 ・昨年同様、母子父子自立支援員と女性相談支援員をそれぞれ専任配置した。
				教育課	学校において家庭内暴力を発見した場合は、関係機関へ連絡をする。 （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・学校において家庭内暴力の発見・相談を受けた場合は、関係機関への通報。被害にあった児童生徒への相談支援を構築した。 （5小学校、2中学校で相談体制の実施）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 10	計画・内容（数値目標） ・学校において家庭内暴力を発見した場合は、関係機関へ連絡をする。 （5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・引き続き、関係機関との連携が必要。				課題に対しての修正点 ・学校ごと、子どもサポートセンターを含めた関係機関との連携を行う。
		暴力を受けた被害者に対する支援	緊急に援助を必要とする女性などへの早急な保護・救済を行うため、関係機関との連絡・調整など支援体制の充実を図ります。	人権同和政策課	人権よろず相談を毎月開設。（年12回） 女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 91件） ・女性弁護士相談開設 年 6回（相談件数 19件）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8	計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談を毎月開設。（年12回） ・女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）
						効果と課題 ・相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・様々な相談内容に対応できる体制の検討。				課題に対しての修正点 ・より多くの方が相談できるよう、開催日程を検討する。
				福祉課	緊急に避難を必要とする女性への早急な保護・救済を行うため、女性相談支援員を中心とする支援体制の充実を図る。（暴力を受けた被害者に対する支援）	実績状況（数値実績） ・緊急に避難を進めたケース 2件	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	2	計画・内容（数値目標） ・緊急に避難を必要とする女性への早急な保護、救済を行うため、女性相談支援員を中心とする支援体制の充実を図る。
						効果と課題 ・困難事例が増加しているとともに、相談内容が複雑化しているケースが多いが、関係機関との連携により広い範囲の相談に対応ができている。 また 研修の充実により、相談者への助言内容の向上につながった。				課題に対しての修正点 ・昨年同様、母子父子自立支援員と女性相談支援員をそれぞれ専任配置した。
				市民課	住民基本台帳閲覧規制等のDV支援体制の充実を図る（職員のスキルアップ、関係機関との連携）。	実績状況（数値実績） ・関係市町村との連携を図るため、申請受付後すぐに電話でやり取りをし、速やかにデータにロックをかけた。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ (a) b c	2	計画・内容（数値目標） ・住民基本台帳閲覧規制等のDV支援体制の充実を図る。（職員のスキルアップ、関係機関との連携）
						効果と課題 ・関係市町村との速やかな連携により申請者の安全を図った。				課題に対しての修正点

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和8年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(2) 雇用 における機 会均等と就 労条件の整 備	①男女の雇 用機会均等 に関する啓 発 ②働きやす い環境の整 備 ③労働に関 する相談の 充実及び就 業に関する 情報の提供	事業主に対して の啓発	労働局、ハローワーク、県等で開催 する各種セミナーについて事業主に 周知します。	商工観光課	従来の周知方法に加え、市が事務局を持つ商工業団 体の会議等での周知やSNSを活用した不特定多数へ の周知も行う。	実績状況（数値実績） ・労働局、ハローワーク、県等主催セミナーを広報、市HP等への掲載し、商 工観光課窓口にも情報コーナーも設置し周知を行った。	C	① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） ・従来の周知（HP、掲示）に加え、市が事務局を担う商工業団体の会議等で ダイレクトな情報提供を行う。また、市の公式LINE等でタイムリーな発信 を行う。 課題に対しての修正点 ・事業者ニーズが高い情報を精査し、SNS等を活用した発信を増やす。
			育児休暇の取得やフレックスタイム などの就労条件の整備や、従業員が 取得しやすい環境整備の啓発を行い ます。		従来の周知方法に加え、市が事務局を持つ商工業団 体の会議等での周知やSNSを活用した不特定多数へ の周知も行う。	実績状況（数値実績） ・「働き方・休み方改善ポータルサイト」を市HPに掲載し、窓口での啓発ポ スター掲示を行い、制度の認知度向上を図った。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a (b) c		7
			男性の育児休暇取得促進のための新 制度について、企業自らの積極的な 取組が進むよう、関係機関・団体等 と連携して普及啓発を行います	人権同和政 策課	男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施し する。（2社以上）	実績状況（数値実績） ・人権同和政策係と共同で企業訪問を行い、働きやすい環境づくりについて ヒアリングを行った。 （男女共同参画推進委員2社、人絹同和政策係5社）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 5. 7	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施する。 課題に対しての修正点 ・市報への掲載内容の充実を図る。
			ワーク・ライフ・バランスの実現に 資する、DXの推進によるテレワー ク、フレックスタイムなど、企業等 における多様で柔軟な働き方の啓発 と制度の導入促進を支援します。			効果と課題 ・効果：市報へ掲載し、働きやすい環境づくりへの周知を行った。				① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c
		職場における推 進体制の充実	職場における男女共同参画を進める ため、職場の問題点などを話し合う 懇談会を開催します。	人権同和政 策課	男女共同参画行政推進会議を開催し、職員への意識 啓発及び情報共有を図る。	実績状況（数値実績） ・男女共同参画行政推進会を7/22に開催し、男性の育児休業取得への対応 や配慮について説明を行った。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） ・従来の周知（HP、掲示）に加え、市が事務局を担う商工業団体の会議等で ダイレクトな情報提供を行う。また、市の公式LINE等でタイムリーな発信 を行う。 課題に対しての修正点 ・事業者ニーズが高い情報を精査し、SNS等を活用した発信を増やす。
			ハローワーク、県等で開催する働く 女性支援セミナーを広報等で周知し ます。 女性の就業支援やスキルアップのた めの講座を開催します。			実績状況（数値実績） ・ハローワークの求人情報や長野県工科短期大学校が実施する公共職業訓練 の情報等を商工観光課や市民課窓口へ配架することに加え、市HP等でも周 知を定期的に実施した。				① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（3）農業・商工業等自営業における男女共同参画の確立	①時代の流れに対応できる経営者の育成 ②女性農業者・女性農協経営者の育成	企業経営セミナーの支援	商工会等が主催する経営能力向上のためのセミナーを支援します。	商工観光課	管内自治体、商工団体等との連携し、セミナーを支援する。	実績状況（数値実績） ・企業経営セミナーを11月と1月に2回実施。 1月のセミナーでは、第一線で活躍する女性を講師に招き、自身の経験等を踏まえた講演会を行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） ・管内自治体、商工団体等との連携し、セミナーを支援する。
						効果と課題 ・1月の講演会には、108名の参加者があった。 著名な講師を招くことで、集客にはなるが費用対効果の検証が必要。				課題に対するの修正点 ・商工会女性部や上田法人会東御支部女性部等と連携し、講師の選出を行う等、運営経費の見直しを検討する。
		女性の農業者・農業経営者の育成	農村女性ネットワークとうみ及び生産者団体などの活動を基軸として、県等が実施する各種セミナーの情報提供をするとともに、これらへの参加を促します。また、女性農業者が積極的に地域農業に貢献できる環境づくりを進め、人材の育成を図ります。	農林課	生産者団体などの活動を基軸として、県等が実施する各種セミナーの情報提供をするとともに、これらへの参加を促します。また、女性農業者が積極的に地域農業に貢献できる環境づくりを進め、人材の育成を図ります。	実績状況（数値実績） ・県から通知のあったセミナー等の情報を積極的に生産団体へ情報提供しています。 ・令和7年度新規女性農業認定者：2名	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	9	計画・内容（数値目標） ・生産者団体などの活動を基軸として、県等が実施する各種セミナーの情報提供をするとともに、これらへの参加を促します。また、女性農業者が積極的に地域農業に貢献できる環境づくりを進め、人材の育成を図ります。
						効果と課題 ・農村女性ネットワークが令和6年度をもって団体解散しており、現在残っている農業者団体も男性が多い。 ・女性農業認定者の確保に引き続き取り組む。				課題に対するの修正点
		家族経営協定の推進	家族みんなが意欲的に働くことができる環境整備について、家族間で十分に話し合い、経営の改善につながるよう、家族経営協定の締結を推進します。	農林課	家族経営協定 1件	実績状況（数値実績） ・家族経営協定 3件	A	① (a) b c ② (a) b c - ③ (a) b c ④ (a) b c	3.4. 7	計画・内容（数値目標） ・家族経営協定 1件
						効果と課題 ・目標を上回る実績を出せた。				課題に対するの修正点

基本目標 3 学習会等の充実 ※推進計画P29から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（１）共同参画を推進するための教育・学習の促進	①男女共同参画学習会の充実 ②幼稚園・保育園・学校における教育の推進 ③リーダーの養成と活動の支援	講演会や講座等の開催	女性のエンパワーメントやメディア・リテラシーの向上、性別による固定的役割分担意識の是正のための講演会、講座等を開催し、市民の理解を深め、啓発に努めます。	人権同和政策課	男女共同参画事業として”あいとびあ”さんかくセミナーのサテライト会場として開催「国際女性デーイベント」の開催	実績状況（数値実績） “あいとびあ”フォーラムのサテライト会場としてセミナーを開催した。 「地域でジェンダー平等を実現していくには」6月28日開催 参加者数12名） 「国際女性デーイベント」を開催した。 『「共に子育て」・「共に家事を」』（3月8日開催 参加者数50人）	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画事業として“あいとびあ”フォーラムのパブリックビューイング会場として開催。 ・子育てフォーラムと共催で「国際女性デーイベント」の開催。
						効果と課題 ・効果：国際女性デーでは、子育てフォーラムと共催。若い世代の参加が増えた。 ・課題：より多くの方に参加いただけるよう、内容の充実及びPRを行う。				課題に対する修正点 ・関係各所にも周知の依頼をする。
		各種学習会	今まで実施している女性学級、たけのこ学級、シニア大学、市民大学等に男女共同参画の視点からの学習内容も加味し、充実します。 （※たけのこ学級は令和4年度末をもって中止）	地域づくり支援課	女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める。 ・力を身につけた学習を実施。受講生19名で年10回開催した。	実績状況（数値実績） ・女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める。 ・力を身につけた学習を実施。受講生19名で年10回開催した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。
						効果と課題 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担った。また、受講生のうちのひとりが得意分野を活かして講義を行う回があり、主体性をもった活動ができた。				課題に対する修正点 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、主体性をもって活動してもらう。
		家庭・地域における学習の推進	家庭教育や地域における学習活動を促進するために、各種講座の開催や地域における学習会への支援等を促進します。	地域づくり支援課	年10回、のべ100名以上集められる単発講座を開催し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行う。	実績状況（数値実績） ・新規受講者の増加を目的として単発講座を9回開催、のべ83名が参加し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・年10回、のべ100名以上集められる単発講座を開催し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行う。
						効果と課題 ・効果：各講座の中で受講生同士が交流できるよう、グループワークを積極的に取り入れた。 ・課題：単発のため受講生同士の繋がりが希薄になってしまう。				課題に対する修正点 ・講座の内容に合わせつつ、グループワーク等他の受講生と関わる機会を積極的に設けることで、受講生同士の繋がりを創出する。
		人権啓発学習会	各区ごとに、人権啓発学習会を開催します。	人権同和政策課 （教育課）	北御牧地区（一部）、田中地区、祢津地区で人権啓発学習会を開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討。	実績状況（数値実績） ・人権学習会 祢津地区（6月3日～26日）、北御牧地区（7月1日～7月24日）、田中地区（10月1日～16日）30地区 参加者 250名	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） ・北御牧地区（一部）、滋野地区、和地区で人権啓発学習会を開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討。
						効果と課題 ・地道な呼びかけを継続していく。				課題に対する修正点 ・市報及び市ホームページ等で開催内容等を掲載していく。
		人権まちづくり市民のつどい	人権をテーマとしたつどいを開催します。	人権同和政策課	平和と人権をテーマとした講演等の市民のつどいを開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討	実績状況（数値実績） 【東御市人権セミナー 第3回 戦争と人権】 演題：「沖縄の悲鳴が届いていますか？」 講師：作家・特定非営利活動法人クリオン虹の基金理事長 伊波 敏男さん 日時・会場：8月12日（火）14時～15時30分 東部人権啓発センター 来場者：47名 【人権尊重まちづくり市民の集い】 演題：「紛争地、被災地に生きる人々の声 ～取材から見えてきたこと～」 講師：安田 菜津紀さん 日時・会場：12月6日（土）13時30分～16時 来場者：175名	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画と人権をテーマとした講演等の市民のつどいを開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討。
						効果と課題 ・講演への関心が高く、市民の人権意識高揚に繋がった。				課題に対する修正点 ・市報及び市ホームページ等で開催内容等を掲載していく。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
	男女平等教育の 充実		幼児期から男女共同参画意識を育む ことができるように、幼稚園、保育 園、学校における男女平等観に根ざ した教育を推進します。	教育課	性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、 理解する。 他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保 健体育、社会） （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・性教育、人権教育として男女の違いを認め合い、理解する。ほかの教科と 連携し学んだ。（家庭科、理科、保健体育、社会） （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・男女共同参画意識を育むことができるよう、学習の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1. 2. 3. 4. 5 . 10	計画・内容（数値目標） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。 ・他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会） （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・各学校において学習の機会を設ける。
				保育課	幼児期から男女共同参画意識を育むため、保育園等 において男女平等観に根ざした教育を推進する。	実績状況（数値実績） ・固定的役割の解消（あそび・活動・当番など男女で分けて、こどもが選 択） ・多様性の需要（あそびや、表現・服装など、互いに認めあう） ・対等な関係性の形成（性別を問わず協力しあう）以上3点に留意した保育 実践 効果と課題 ・日常生活やあそびの中で、ありのままの姿を受容し、その子らしさを大 切にし、向かい合ってきた。今後も子ども一人ひとりの個性を尊重し、の びやかな保育実践をする。	B	① a (b) c ② a b c () ③ a (b) c ④ (a) b c	3. 10	計画・内容（数値目標） ・幼児期から男女共同参画意識を育むため、保育園等において男女平等観に 根ざした教育を推進する。 課題に対しての修正点
		指導者に対する 研修の充実	指導にあたる幼稚園教諭、保育士、 教職員やPTAを対象にした研修の 中に、男女共同参画の視点に立った 研修の機会を取り入れるように依頼 します。	人権同和政策課	女性団体連絡協議会及び男女共同参画推進会議が解 散となったため、今年度新設した女性人材バンク登 録者等個人を対象に研修会参加等を依頼していく。	実績状況（数値実績） 登録者数：8名 効果と課題 ・関係団体等への呼びかけ等により登録の依頼を行ったが、十分な人数とは ならなかった。	C	① a b (c) () ② a b c () ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・女性人材バンク登録者数を増やし、女性リーダー養成に繋がる研修会等の 啓発を行う 課題に対しての修正点 ・若い世代への周知を行っていく。
				教育課	各学校において職員、PTAへの人権研修を実施す る。 （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・新任教職員研修43人、和小小学校主催の北御牧中学校での研修会約150人、 田中小学校授業研究71人 ・PTAを対象とした人権研修会 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・研修会実施の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1	計画・内容（数値目標） ・各学校において職員、PTAへの人権研修を実施する。 （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・各学校において研修会を実施する。
	各種学習会の企 画・運営への参 加	女性学級・たけのこ学級等の講座、 学級の運営委員会、実行委員会の活 動を通し地域のリーダー養成を支援 します。 （※たけのこ学級は令和4年度末を もって中止）	地域づくり 支援課	女性学級：受講生自身が講座の計画・運営すること によって、自主的に物事を進める力を身につけた学 習を実施。受講生20名で年10回開催する。	実績状況（数値実績） ・女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物 事を進める。 力を身につけた学習を実施。受講生19名で年10回開催した。 効果と課題 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担った。ま た、受講生のうちのひとりが得意分野を活かして講義を行う回があり、主 体性をもった活動ができた。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・受講生自身が講座の計画・運営をすることによって、自主的に物事を進め る力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。 課題に対しての修正点 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、 主体性をもって活動してもらう。	
					実績状況（数値実績） ・令和7年度登録者数：8名 効果と課題 ・関係団体等への呼びかけ等により登録の依頼を行ったが、十分な人数とは ならなかった。	C	① a b (c) () ② a b c () ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・女性人材バンク登録者数を増やし、女性リーダー養成に繋がる研修会等の 啓発を行う。 課題に対しての修正点 ・若い世代への周知を行っていく。	

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（2）支援 団体等との 連携と強調	①活動団体の育成及び支援 ②地域の女性団体の実態把握とネットワーク化の促進 ③自主的な活動への支援	活動団体の育成・支援	自主的活動団体の育成・支援に努めます。	人権同和政策課	両団体（男女共同参画推進会議、女性団体連絡協議会）とも令和6年度末をもって解散となったため支援は中止	実績状況（数値実績） 効果と課題 —	不	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	—	計画・内容（数値目標） 課題に対しての修正点
		男女が共に関わる生涯学習活動等の推進	文化活動、スポーツ活動、各生涯学習講座等を通して、互いの連携促進を図れるように支援します。	地域づくり支援課	各種活動における男女共同参画の連携を支援する。	実績状況（数値実績） ・文化活動、各生涯学習講座等を通して、互いの連携促進を図れるように支援した。 効果と課題 ・それぞれの活動において男女共同参画に通じる連携促進について具体性がない。	B	① a (b) c ② a b c (—) ③ a (b) c ④ a (b) c	1.9	計画・内容（数値目標） ・各種活動における男女共同参画の連携を支援する。 課題に対しての修正点 ・各活動での交流性を検討し連携を図れる支援に努める。
				文化・スポーツ振興課	ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）への参加人数 R7 163人（10%増）	実績状況（数値実績） ・ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）への参加人数 R7 202人（R6 149人） 効果と課題 ・スポーツの振興において、活動団体等へ男女相互の連携を支援した。	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	10	計画・内容（数値目標） ・ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）への参加人数 R8 180人（R7目標値163人の10%増） 課題に対しての修正点
		女団連活動の支援	女性団体連絡協議会の組織づくり及び活動を支援します。	人権同和政策課	令和6年度末をもって解散となった。	実績状況（数値実績） 効果と課題	不	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	—	計画・内容（数値目標） 課題に対しての修正点
		男女共同参画推進に関わる活動の支援	東御市男女共同参画推進会議等の男女共同参画推進関連団体の自主的活動を支援します。	人権同和政策課	令和6年度末をもって解散となった。	実績状況（数値実績） 効果と課題	不	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	—	計画・内容（数値目標） 課題に対しての修正点

基本目標 4 家庭における理解と協力【女性活躍推進法】 ※推進計画P35から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和8年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 男女が互いに理解し協力する家庭の実現	①家庭における男女の役割分担意識の是正	各種学習会の開催	男女共同参画とジェンダー平等の視点に立った内容の学習会開催に努めます。	人権同和政策課	男女共同参画の視点に立った学習会を開催する。各分館で行う人権啓発学習会に男女共同参画の内容を加える。	実績状況（数値実績） “あいとびあ”フォーラムのサテライト会場としてセミナーを開催した。 「地域でジェンダー平等を実現していくには」6月28日開催 参加者数12名)	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画の視点に立った学習会を開催する。
						効果と課題 ・広報等で周知したが、参加者が少なかった。				課題に対しての修正点 ・SNS等を活用し周知していく。
(2) 男女が共に関わる家事・育児・介護の推進【女性活躍推進法】	①男女が共に築く家庭生活の充実 ②家族が共に関わる、家事・育児・介護の大切さの見直し【女性活躍推進法】	仕事と生活の調和の意識啓発	ワーク・ライフ・バランスを啓発し、家庭生活において男女が互いに協力し合う環境づくりを促進します。	人権同和政策課	「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」を開催した。 『「共に子育て」・「共に家事を」』（3月8日開催 参加者数50人）	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） ・子育てフォーラムと共催で「国際女性デーイベント」の開催。
						効果と課題 ・子育てフォーラムと共催。若い世代の参加が増えた。 ・より多くの方に参加いただけるよう、内容の充実及びPRを行う。				課題に対しての修正点 関係各所にも周知の依頼をする。
		男性の参画促進	家庭における男性の家事・育児・介護への参画を促進するため、各種講座を開催します。	人権同和政策課	「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」を開催した。 『「共に子育て」・「共に家事を」』（3月8日開催 参加者数50人）	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） ・子育てフォーラムと共催で「国際女性デーイベント」の開催。
						効果と課題 ・子育てフォーラムと共催。若い世代の参加が増えた。 ・より多くの方に参加いただけるよう、内容の充実及びPRを行う。				課題に対しての修正点 ・関係各所にも周知の依頼をする。
				子ども家庭支援課	「すくすくぽけっと」の記事に父親の育児参加について情報発信を継続する。	実績状況（数値実績） ・「すくすくぽけっと」で父親の育児参加（土曜の子育て支援センター利用）や、家庭での活躍情報について情報発信した。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8 . 10	計画・内容（数値目標） ・「すくすくぽけっと」の記事に父親の育児参加について情報発信を継続する。
						効果と課題 ・父親と参加の料理教室を実施し、9組25名の参加があった。 (東御の子どもの元気な育ちを支える事業委託 親子でクッキングチャレンジ) ・多くの方に参加してもらえるよう周知方法を検討する。				課題に対しての修正点 ・すくすくぽけっと掲載だけでなく、プッシュ型のLINE配信をし周知する。
				福祉課	介護予防住民指導者養成講座 2クール(1クール3回) 修了者数 80名(うち、男性30名)	実績状況（数値実績） ・介護予防住民指導者養成講座 2クール 6回（全6回） ・修了者数 74名（うち、男性 25名）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	4. 12	計画・内容（数値目標） ・介護予防住民指導者養成講座 2クール 6回（1クール3回×2） ・修了者数 80名(うち、男性30名)
						効果と課題 ・効果：介護予防についての理解促進が図られた。また、住民主体の通所型サービスBの立ち上げにつながり、高齢者の活躍の場が増えた。 ・課題：修了後、通所型サービスBのスタッフや日常生活サポーター等の活動につながる人が少ない。				課題に対しての修正点 ・通所型サービスBの見学や体験参加等の実施。 ・地域で活躍している方の活動の様子の紹介。
		子育て講座、学習会等の開催	男女が子育てに関わることの大切さを学習し家庭での育児力を高めるための体験型育児講座、学習会等を開催します。	子ども家庭支援課	子育て支援センター行事内での啓発及び個別支援を継続する。	実績状況（数値実績） ・子育て支援センター内の講座で、折に触れ育児については保護者が協力して行うことを伝えた。 ・座談会等で保護者の悩みを出し合い支援した。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8 . 9. 10	計画・内容（数値目標） ・子育て支援センター行事内での啓発及び個別支援を継続する。
						効果と課題 ・育児座談会を年4回実施し、保護者の育児の悩みごとを共有、支援することができた。 ・センター利用者が減少傾向であることが課題。				課題に対しての修正点 ・利用者増にむけてセンター行事の見直しを検討する。
		子育て支援団体等の育成、支援	乳幼児・児童の保護者の子育てを支援するボランティア団体等の育成・支援を行います。	子ども家庭支援課	補助金を活用した団体育成、見守り強化事業を継続する。	実績状況（数値実績） ・補助金を活用し支援を実施した。2団体 ・見守り支援員登録者49人（R8. 3. 31現在） 訪問による支援 292回 自宅以外訪問による支援 208回	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8 . 9	計画・内容（数値目標） ・補助金を活用した団体育成、見守り強化事業を継続する。
						効果と課題 ・効果：地域で子育てを支える機運醸成が図られた。				課題に対しての修正点 ・引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催し、見守り支援員登録者の増加を図る。
		両親学級	妊娠期の健康と出産の正しい知識を学習する両親学級を開催します。父親等の参加を促進し、父親の役割や家族の協力体制を学び、子育てなどを支援します。	健康推進課	年間6講座実施予定。参加しやすいように土曜に開催。 ママとパパの食教室3回開催予定。	実績状況（数値実績） ・年間6回講座開設。参加者人数71人（うち家族35人）、夫婦で参加し。 ・ママとパパの食教室、3回開催 参加人数 33人（うち家族 14人）妊娠中の食事について考えたり、離乳食についての関心が高い。平日開催であるが、ご夫婦での参加が増えている。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 6 . 8. 10. 12	計画・内容（数値目標） ・年間4講座実施予定。参加しやすいように土曜に開催。 ・初産婦の参加率が増えるよう広報の方法などを検討する。 ・ママとパパの食教室3回開催予定。
						効果と課題 ・効果：夫婦関係や、子育てに向けての役割分担について考える機会となっている。 ・課題：初産婦の方の参加が55.1%で、全員の方が参加していないこと。				課題に対しての修正点 ・広報の仕方について、初産婦さんはできる限り参加してほしいと積極的に伝えて行くようにする。すくすくTOMIでも定期的に複数回案内をする。
		男女双方の育児・家事等への積極的参加の促進	育児や家事についてのエピソードや川柳の募集、展示を通して、ワーク・ライフ・バランスの理解と実践を広く図ります。	人権同和政策課	「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」を開催した。 『「共に子育て」・「共に家事を」』（3月8日開催 参加者数50人）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） ・子育てフォーラムと共催で「国際女性デーイベント」の開催。
						効果と課題 ・子育てフォーラムと共催。若い世代の参加が増えた。 ・より多くの方に参加いただけるよう、内容の充実及びPRを行う。				課題に対しての修正点 ・関係各所にも周知の依頼をする。

基本目標 5 女性の社会参画の促進【女性活躍推進法】 ※推進計画P40から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和8年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 政策・方針等の立案及び決定への女性の参画の拡大【女性活躍推進法】	①審議会等への女性の参画・登用の促進 ②職場における女性の管理職への積極的登用 ③女性の人材育成と女性リーダーの養成【女性活躍推進法】	審議会・委員会等への女性の参画の促進	女性の意見が広く行政に反映できるように、審議会等の女性委員の割合の向上に努めます。	庁内各課	引き続き女性の登用率40%を目指す。	実績状況（数値実績） ・資料2参考	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 6	計画・内容（数値目標） ・引き続き女性の登用率40%を目指す。
						効果と課題 ・関係各課へ引き続き女性の登用について依頼していく。				課題に対しての修正点 ・引き続き女性の登用率40%を目指す。また、女性人材バンク登録者数を増やし女性登用に活用していく。
		市の女性職員の登用促進	性別に関係なく適材適所の職員配置に努めるとともに、能力に応じ女性職員の管理職への登用を促進します。	総務課	管理職に占める女性の割合が、引き続き15%以上となるよう努める。	実績状況（数値実績） ・令和7年度の管理職に占める女性の割合は、16.7%	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4 6. 7	計画・内容（数値目標） ・管理職に占める女性の割合が、引き続き15%以上となるよう努める。
						効果と課題 ・効果：性別にとらわれない適材適所の職員配置により、効果的な政策立案が可能となっている。 ・課題：管理職となる年齢の女性職員数が少なく、登用の難しさがある。				課題に対しての修正点 ・男女共同参画研修等の実施により、職員の意識啓発に努める。
		事業所等における方針等の決定への女性の参画促進	企業経営者・管理者等を対象に、事業所等における女性の参画促進について理解を深めるため、広報・啓発活動を行います。	人権同和政策課	男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施する。（2社以上）	実績状況（数値実績） ・人権同和政策係と共同で企業訪問を行い、働きやすい環境づくりについてヒアリングを行った。 （男女共同参画推進委員2社、人絹同和政策係5社）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 5. 7	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施する。
						効果と課題 ・効果：市報へ掲載し、働きやすい環境づくりへの周知を行った。				課題に対しての修正点 ・市報及び市ホームページ等で開催内容等を掲載していく。
		女性の人材育成	まちづくりの現代的課題などの学習会や能力向上を目的とした講座を開催し人材育成を図ります。	地域づくり支援課	女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める。 ・力を身につけた学習を実施。受講生19名で年10回開催した。	実績状況（数値実績） ・女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める。 ・力を身につけた学習を実施。受講生19名で年10回開催した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） ・受講生自身が講座の計画・運営をすることによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。
						効果と課題 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担った。また、受講生のうちのひとりが得意分野を活かして講義を行う回があり、主体性をもった活動ができた。				課題に対しての修正点 ・全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、主体性をもって活動してもらう。
		女性活躍の環境づくりの推進	企業経営者等セミナー、女性リーダー研修、女性起業セミナー等への参加を促進します。	人権同和政策課	商工観光課と連携し、セミナー等の周知や参加を促進する。	実績状況（数値実績） ・商工観光課と連携し、セミナー等の周知を行った。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 5. 7	計画・内容（数値目標） ・商工観光課と連携し、セミナー等の周知や参加を促進する。
						効果と課題 ・周知方法を検討する必要がある。				課題に対しての修正点 ・女性リーダーセミナー等の周知や参加を推進する。
(2) 地域の社会活動への女性の参画の促進	①自治会等における女性参画の促進 ②活動団体の育成及び支援	自治会等における女性参画の促進	自治会等における各種役員への女性の参画を推進するため女性の登用を働きかけ、規約や役割分担の見直し・検討を促します。	地域づくり支援課	自治推進委員会における女性参画の周知等（2回）	実績状況（数値実績） ・自治推進委員会における女性参画についての周知（年2回）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 6. 11	計画・内容（数値目標） ・自治推進委員会における女性参画の周知等（2回）
						効果と課題 ・会議の場等を活用し一定の周知を図ることができた。				課題に対しての修正点 ・会議等の場において周知啓発を図る。
		活動団体の育成及び支援	各種活動団体の育成・支援に努めます。	人権同和政策課	自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握し、市ホームページに掲載する。区長会等で現状をお知らせし、女性の登用を依頼する。	実績状況（数値実績） ・自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握し、市ホームページに掲載した。 ・区長会等で現状をお知らせし、女性の登用を依頼した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 6	計画・内容（数値目標） ・自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握し、市ホームページに掲載する。 ・区長会等で現状をお知らせし、女性の登用を依頼する。
						効果と課題 ・区長、副区長への女性の登用はまだまだ少ないが、会計や協議員は徐々にではあるが増加傾向である。引き続き、依頼していく。				課題に対しての修正点 ・引き続き、自治推進委員会、各地区区長会等で依頼していく。
		活動団体の育成及び支援	各種活動団体の育成・支援に努めます。	地域づくり支援課	各地域づくり協議会における男女共同参画の機会について1回以上周知する。	実績状況（数値実績） ・実績なし	D	① a b (c) ② a b c (c) ③ a b (c) ④ a b (c)	9	計画・内容（数値目標） ・各地域づくり協議会における男女共同参画の機会について1回以上周知する。
						効果と課題 ・女性参画における周知啓発の推進する。				課題に対しての修正点 ・女性の社会参画における啓発を推進する。

基本目標 6 家庭生活と社会活動等が両立するための支援 ※推進計画P45参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）仕事と育児・介護の両立のための社会的支援	①保育サービスの充実 ②子育て支援サービスの充実 ③介護サービスの充実	保育環境の整備	特別保育など保育サービスの充実を図り、女性の社会進出、職場復帰を支援します。	保育課	市立保育園をはじめ、私立保育園、小規模保育事業所などと連携を図り、良好な保育環境の維持に努める。	実績状況（数値実績） ・市内の保育園、幼稚園、小規模保育事業所が参加する連絡会議を毎月開催し、情報共有や連携を図り、良好な保育環境の維持に努めた。 効果と課題 ・安心して子どもを預けられる良好な保育環境を維持することができた。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	8	計画・内容（数値目標） ・市内の保育園や幼稚園等が連携を図り、良好な保育環境の維持に努める。 課題に対しての修正点
		子育て支援環境の整備	低学年児童の放課後対策のため、児童館・放課後児童クラブを開館し、子育てを支援します。	教育課	各地区別児童館の運営と田中、祢津小学校に併設の各児童クラブ及び北御牧児、滋野、和児童館それぞれ併設の児童クラブの運営を行う。	実績状況（数値実績） ・児童館利用者数 延べ65,127人 ・児童クラブ利用者数 延べ49,646人 ・滋野児童館移転新築（児童クラブ併設施設） 効果と課題 ・効果：児童館、児童クラブの適切な運営が図れた。 滋野児童館移転新築により、利用児童の利便性向上が図られた。 ・課題：老朽化している田中、祢津児童館の改修等が今後の課題となる。	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1	計画・内容（数値目標） ・各地区別児童館の運営と田中、祢津小学校に併設の各児童クラブ及び北御牧、滋野、和児童館それぞれ併設の児童クラブの運営を行う。 課題に対しての修正点 ・田中、祢津児童館の改修等については、今後、立地場所等も踏まえ、引き続き検討を行っていく。
		育児相談	子育て支援センター及び各保育園で育児相談を行います。	子ども家庭支援課	子育て支援センター通所者以外の相談にも積極的に応じていく。	実績状況（数値実績） ・利用者支援事業として子育て支援センターの相談に応じるほか、乳幼児健診等においても各種相談に応じた。 ・支援センター以外でもLINE等による相談を実施した。 効果と課題 ・効果：来庁や電話よりも気軽に利用できるLINE相談により、相談へのハードルを下げることができた。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 8 10	計画・内容（数値目標） ・子育て支援センター通所者以外の相談にも積極的に応じていく。 課題に対しての修正点 ・LINE登録の周知、声掛けを積極的に行う。
				保育課	各保育園で保護者面談を行うことで、保護者が育児相談できる場所を設ける。 1歳児参観日において保健師による講演・相談を実施する。	実績状況（数値実績） ・各関係機関と連絡を取り合い、情報を共有することができた。 効果と課題 ・効果：保育サービスの充実につながった。	B	① (a) b c ② a b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	8	計画・内容（数値目標） ・各保育園で保護者面談を行うことで、保護者が育児相談できる場所を設ける。1・2歳児保育参観日において保健師による講演・相談を年1回ずつ実施する。 課題に対しての修正点
		介護支援と相談機能の充実	介護情報の周知に努め、介護サービスが円滑に利用できるように支援します。また、地域包括支援センターを拠点に介護相談の充実を図ります	福祉課	・毎週土曜日（AM）相談窓口の開設 ・第4土曜日（AM）福祉用具相談会の実施	実績状況（数値実績） ・毎週土曜日の午前中に相談窓口を開設。 ・福祉用具相談会を計10回実施。 ・介護情報の冊子（高齢者のためのあんしんガイドブック）の全戸配布 効果と課題 ・効果：平日に来所できない方等に対して、利便性の向上を図られた。ガイドブックの全戸配布により、介護情報の周知が図られた。 ・課題：土曜日の利用者が低迷し、十分な効果は得られなかった。	D	① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a b (c)	4 8	計画・内容（数値目標） ・介護情報冊子（電子書籍）の更新 ・高齢者訪問件数：年間2,000件 課題に対しての修正点 ・「待ち」の相談ではなく、高齢者宅の訪問や出張相談会等を実施し、アウトリーチ支援を強化する。
		家庭介護者の講習	介護を行っている家族が知識・技術を習得するための教室を開催します。	福祉課	毎月1回実施 参加者延べ120名	実績状況（数値実績） ・認知症家族会について毎月市報で周知を行い、月1回の頻度で福祉センターで実施した。 年間12回実施 参加者 延べ88名 効果と課題 ・効果：認知症を持つご家族の情報共有や息抜きの場となっている。 ・課題：参加者が介護状態になったり、他界したことにより、参加人数が減少傾向にある。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	4	計画・内容（数値目標） ・毎月1回実施 参加者延べ120名 課題に対しての修正点 ・新規参加者が増えるよう、家族会の周知方法を工夫する。
		介護保険制度の円滑な実施	介護保険制度の目的を踏まえ、制度を円滑に実施し、家族の介護負担の軽減を図ります。	福祉課	高齢者日常生活サポート事業 利用者数20名 有償ボランティア登録数30名 通所型サービスB型及びC型 各3か所 地域ケア会議（50回）推進会議（4回）	実績状況（数値実績） 【高齢者日常生活サポート事業】利用者数30名 有償サポーター登録数49名 【通所型サービスB】3か所 【通所型サービスC】3か所 【地域ケア会議】26回 【地域ケア推進会議】3回 効果と課題 ・効果：高齢者の活躍の場や通いの場が充実してきたことにより、介護予防・生きがいがづくり・社会参加につながっている。 ・課題：住民主体の活動や生活支援サービスの更なる充実	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	8	計画・内容（数値目標） 【高齢者等日常生活サポート事業】 利用者数70名 有償サポーター登録数85名 【通所型サービスB】15か所 課題に対しての修正点 ・高齢者等日常生活サポート事業及び通所型サービスBが更に拡充するよう、事業の周知に努める。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（２）地域社会との連携	①地域の多様性に基づいたネットワークの構築 ②男女が共に関わる地域づくりの促進	ボランティア団体の育成・支援	市民一人ひとりが地域社会へ参画するためボランティア団体の育成・支援に努めます。	子ども家庭支援課	子育て支援サポーター養成講座を継続し、さらにサポーターを増やす。（目標累計100人以上）	実績状況（数値実績） ・子育て支援サポーター養成講座受講者累計116人（R7年度末現在） 効果と課題 ・子育て支援サポーター養成講座受講者の増加、若い世代の受講者増加の取り組み	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 3. 4 8. 9. 12	計画・内容（数値目標） ・子育て支援サポーター養成講座を継続し、さらにサポーターを増やす。（目標累計120人以上）、うち、40代未満のサポーター3人 課題に対しての修正点 ・引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催する。（年3回以上）
				保育課	保育園でボランティアを受け入れる。	実績状況（数値実績） ・保育園でボランティアを受け入れた。とうみ食育市民ネットワークによる食育活動（年1回）・ごみ減量アドバイザー（年1回）・主任児童委員による参加保育（年6回） 効果と課題 ・多様な人との関わりや、つながる機会を得られた。		① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ (a) b c		計画・内容（数値目標） ・保育園でボランティアを受け入れる 課題に対しての修正点
				福祉課	介護予防住民指導者養成講座 2クール(1クール3回) 修了者数 80名(うち、男性30名)	実績状況（数値実績） ・介護予防住民指導者養成講座 2クール 全6回 修了者数 74名（うち、有償サポーター登録数19人） ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 受講者数 19名（うち、有償サポーター登録数2人） 効果と課題 ・効果：介護予防についての理解促進が図られた。また、住民主体の通所型サービスBの立ち上げにつながり、高齢者の活躍の場が増えた。 ・課題：修了後、通所型サービスBのスタッフや日常生活サポーター等の活動につながる人が少ない。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） ・介護予防住民指導者養成講座 2クール(1クール3回×2) 修了者数 80名（うち、有償サポーター登録数30人） ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 受講者数 20名（うち、有償サポーター登録数5人） 課題に対しての修正点 ・通所型サービスBの見学や体験参加の実施。 ・地域で活躍している方の活動の様子の紹介。
		ネットワークの構築への支援	ボランティア団体など地域で活動する各種団体のネットワークの構築、地域活動を支援します。	子ども家庭支援課	子育て見守りサポーターの更新研修を継続し、見守り支援員の登録者数を増やす。（目標累計50人） 支援対象児童の定期的なモニタリングを実施し、「支援対象児童等見守り支援強化事業」の見守り体制の充実と適正化を図る。	実績状況（数値実績） ・見守り支援員登録者数累計49人（R8. 3. 31現在） ・見守り支援の訪問による支援292回、居宅以外訪問支援208回 ・登録者の情報交換の場を持ち研修を実施した 効果と課題 ・効果：地域で子育てを支える機運醸成が図られた。 ・課題：見守り支援員登録者の増加	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 3. 9	計画・内容（数値目標） ・子育て見守りサポーターの更新研修を継続し、見守り支援員の登録者数を増やす。（目標累計50人） ・支援対象児童の定期的なモニタリングを実施し、「支援対象児童等見守り支援強化事業」の見守り体制の充実と適正化を図る。 課題に対しての修正点 ・引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催し、見守り支援員登録者の増加を図る。
						実績状況（数値実績） ・自治会における男女共同参画の周知を図った。 効果と課題 ・自治会の役員イコール世帯主（男性）というイメージが大きいため、なかなか自治会等における女性のなり手が増えない。		① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） ・各自治会等への女性参画における周知啓発の推進。 課題に対しての修正点 ・自治会イベント等における男女共同参画に向けての周知を図る。
		女性の地域づくりの促進	地域づくり、まちづくりに男女が対等な立場で活動できるよう女性の参画を促進します。	地域づくり支援課	各自治会等への女性参画における周知啓発の推進	実績状況（数値実績） ・令和7年度は9,933人が参加 効果と課題 ・効果：防災意識の向上 ・課題：命を守るための訓練のため、性別や年齢に関わらず多くの方に参加してもらうこと。	A	① (a) b c ② (a) b c - ③ (a) b c ④ (a) b c	3. 4. 6 9. 10. 11	計画・内容（数値目標） ・令和8年度11,000人 課題に対しての修正点 特になし
		地域の生活課題への女性の参画促進	防災・環境問題等の生活課題に関する地域活動への女性の参画を促します。	総務課	総合防災訓練について男女共同参画の観点からも、多くの人に参加してもらうよう周知する。	実績状況（数値実績） ・防犯女性部は月1回の防犯パトロールや市内保育園での防犯紙芝居を実施した。 ・ごみ減量3R推進委員会は、新規会員の要件「ごみ減量アドバイザー養成講座」を1名の女性が受講して修了した。 効果と課題 ・防犯女性部は、防犯パトロール等の防犯啓発活動により、地域の防犯意識の高揚を図れているが、特殊詐欺に関しては今も新たな手法の詐欺が増えており、防止する方法もまた多様化してしまう。 ・ごみ減量3R推進委員会は、広報紙発行やリサイクル活動等を通じて、ごみの分別や減量化資源化につながった。ごみの総量は前年度より117トンの減量となった。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） ・防犯女性部・ごみ減量3R推進委員会等女性の活動を通じて、地域全体で意識の高揚を図り、各団体への参加を様々な機会をとらえてPRする。 課題に対しての修正点 ・防犯女性部は、警察等と連携を取り防犯啓発に当たっていき市民の防犯意識の向上を図りたい。 ・ごみ減量3R推進委員会は、ごみの分別方法や減量の重要性を伝える啓発内容をさらに充実して市民の意識向上を図る。
				生活環境課	防犯女性部は、警察等と連携を取り防犯啓発に当たっていき市民の防犯意識の高揚を図りたい。 ごみ減量3R推進委員会は、ごみの分別方法や減量の重要性を伝える啓発内容をさらに充実して市民の意識向上を図る。					

基本目標 7 母性の保護と男女の健康の増進 ※推進計画P48から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）		事業実績評価（※1）	評価判断基準（※2）	共同参画視点（※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）母性の尊重と保護	①母性尊重の意識の啓発 ②妊娠、出産、育児の安心 ③性感染症予防への取り組み	妊婦保健指導等	助産師による訪問相談や保健指導、両親学級等により妊娠、出産、育児に関する知識・技術の習得と不安の解消、流産や早産の回避を図るとともに、妊婦とその家族に母性保護の重要性を啓発します。	健康推進課	・妊娠届時に個別の保健指導を実施する。 ・もうすぐママパパ学級を開催する。 ・助産所とうみと連携し、妊婦相談訪問事業を行い、産後の支援に繋げる。	実績状況（数値実績） ・妊娠届（137件）個別面接時に保健指導実施。もうすぐママパパ学級では安心して妊娠、出産、子育てができるよう保健指導を行い、必要に応じ個別相談も行った。母性保護については夫婦の役割について考えられる内容とした。妊産婦相談事業（121件）として訪問などで面接を実施した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 6 . 8. 10. 12	計画・内容（数値目標） ・妊娠届出時に個別の保健指導を実施する。 ・もうすぐママパパ学級を開催する。 ・助産所とうみと連携し、妊婦相談訪問事業を行い、産後の支援に繋げる。
		母子保健の充実	妊産婦及び乳幼児の検診・訪問、健康相談、発達相談等により母子の健康保持を図ります。	健康推進課	引き続き、妊産婦・新生児訪問事業、乳幼児健診、母子訪問、健康相談、子育て相談等により、母子健康管理などの相談に務める。	実績状況（数値実績） ・妊産婦・新生児訪問事業、乳幼児健診、母子訪問、健康相談、子育て相談等を実施した。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		課題に対しての修正点 ・妊娠届出時に切迫早産予防についての啓発を行う。支援体制を整えて育児がスタートできるよう、妊婦相談訪問を全員に実施できるよう周知、早めの連絡に努める。妊娠35週頃で妊婦訪問を行えていない妊婦について、担当者に状況を確認するようにする。
		安心・安全な出産	安心・安全な出産ができる体制の整備・維持に努めます。	市民病院助産所とうみ	安心・安全なお産の提供に向けて、妊婦のセルフケアを促し、転院率の減少に努める。	実績状況（数値実績） ・前年度より転院率が14%増加した。内訳としては骨盤位と前期破水が多かった。 ・母子特化型訪問看護は、開設当初より切れ目なく依頼があり、利用者数106名であった。	C	① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a (b) c	12	計画・内容（数値目標） ・安心・安全なお産の提供に向けて、妊婦のセルフケア能力を高め、転院率の減少に努める。 ・産後ケア利用者数の増加を図るためにサービスを充実させる。 ・健康推進課との連携を強化し、産後ケア訪問看護を通じて切れ目ない支援に努める。
		相談事業	エイズやその他の性感染症についての正しい知識、情報を提供し、自分の身体を大切にする意識の高揚を図り、健康相談に対応します。	健康推進課	エイズ等について正しい知識、情報を提供するため、相談の周知を行う。 健康相談、電話相談等により常時相談に応じる。	実績状況（数値実績） ・健康相談、電話相談窓口の周知を毎月の広報で行った。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		課題に対しての修正点 ・様々な方法で広報を行い周知していく。
		性感染症教育	小・中学校において性感染症についての正しい知識、情報を学習し、自分の体を大切にする知識の向上を図ります。	教育課	小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習する。	実績状況（数値実績） ・小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習した。（5小学校、2中学校で実施）	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 12	計画・内容（数値目標） ・小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習する。（5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・引き続き、学年の応じた性感染症についての正しい知識、情報の学習が必要。				課題に対しての修正点 ・学年に応じた学習の機会を設ける。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）		
（2）生涯を通じた男女の健康づくり支援	①ライフステージに応じた健康づくり支援 ②相談体制の充実	ライフステージに応じた健康づくり支援	自らの健康は自らつくることを基本に、各種検診、健康相談の実施や健康づくり教室の開催などにより、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた健康の保持。増進を支援します。	健康推進課	第3次健康とうみ21（前期計画）に基づき、心身共に元気で自分らしく暮らし続けることのできるよう、健康の保持が図れるように推進する。 出前講座：25回 500人 運動教室：12回 240人	実績状況（数値実績） ・各種健診、がん検診、健康相談や運動教室等予定通り実施した。 ・出前講座：35回 延べ674名 ・運動教室：15回 延べ230名	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	8 12	計画・内容（数値目標） ・第3次健康とうみ21（前期計画）に基づき、心身ともに元気で自分らしく暮らし続けることができるよう、健康の保持が図れるように推進する。 出前講座：30回 延べ600名 運動教室：15回 延べ250名
						効果と課題 ・効果：各種健診、がん検診、健康相談や運動教室等予定通り実施。社協や高齢者福祉係との連携により出前講座の利用者数が延びた。 ・課題：引き続き出前講座の充実、講演会などを通じ健康増進の啓発を推進していく。				課題に対しての修正点 出前講座：30回 延べ500名 運動教室：15回 延べ250名
		食育の推進	生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保が図れるように食育を推進します。	健康推進課	第3次健康づくり計画健康とうみ21（前期計画）に基づき、生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の保持が図れるように推進する	実績状況（数値実績） ・第3次健康とうみ21（前期計画）に基づき、食育推進市民会議1回開催、栄養士連絡会1回開催し健康の保持が図れるよう取り組んだ。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	9 12	計画・内容（数値目標） ・第3次健康づくり計画健康とうみ21（前期計画）に基づき、生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の保持が図れるように推進する。
				教育課	引き続き、各小中学校において作成した「食に関する指導の全体計画」に基づき食育活動を推進する。	実績状況（数値実績） ・各小中学校で作成した「食に関する指導の全体計画」に基づいて食育活動を推進し、年4回の市内統一献立等を行った。				課題に対しての修正点 ・引き続き関係者で情報交換し、ライフステージを通じた食育推進に取り組む。
				子ども家庭支援課	支援センター内での食事を通した交流を継続する。専門職が相談に応じる体制を継続する。支援センター以外においても食の相談に応じ、必要時庁内の管理栄養士に繋げて支援する。	実績状況（数値実績） ・支援センター内での食事をとる機会を作り、食事の場面での交流ができた。 ・支援センター以外においても食の相談に応じ、健康推進課の管理栄養士に繋げて支援したケースもあった。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	1 3 4 10	計画・内容（数値目標） ・支援センター内での食事を通した交流を継続する。 ・専門職が相談に応じる体制を継続する。 ・支援センター以外においても食の相談に応じ、必要時庁内の管理栄養士に繋げて支援する。
				保育課	給食に地元食材・園内菜園で収穫した野菜を積極的に使用・調理し食することで、食や地域への関心を高める。また、作物を作り自ら調理することで、食に関するすべての人への感謝の気持ちを持てるように促していく。献立レシピを配布し、情報共有を図る。	実績状況（数値実績） ・各園で食育活動を行った。各園ごとの田畑で園児が米や野菜等を栽培・収穫し、自分達で調理する体験も行った。 ・参加保育の中で保護者が給食を試食、当日の献立レシピを配布し、食に関心が持てるよう促した。				課題に対しての修正点 ・引き続き支援センター内で食事をとる機会を提供する。
				保育課	給食に地元食材・園内菜園で収穫した野菜を積極的に使用・調理し食することで、食や地域への関心を高める。また、作物を作り自ら調理することで、食に関するすべての人への感謝の気持ちを持てるように促していく。献立レシピを配布し、情報共有を図る。	効果と課題 ・自分達で育てた野菜を使って調理することで、食材に興味を持てるようになった。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	12	計画・内容（数値目標） ・給食に地元食材・園内菜園で収穫した野菜を積極的に使用・調理し食することで、食や地域への関心を高める。また、作物を作り自ら調理することで、食に関するすべての人への感謝の気持ちを持てるように促していく。献立レシピを配布し、情報共有を図る。
				健康推進課	引き続き、母子健康相談・生活習慣病相談を実施する。	実績状況（数値実績） ・母子健康相談を毎週火曜日、生活習慣病相談を週5日実施した。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	1. 3. 4. 6. 8 . 10. 12	計画・内容（数値目標） ・引き続き、母子健康相談・生活習慣病相談を実施する。
		相談体制の充実	乳幼児期から高齢期まで様々な相談に対応し、心身ともに健康な生活づくりを支援します。	健康推進課	引き続き、母子健康相談・生活習慣病相談を実施する。	効果と課題 ・効果：毎週火曜日実施が周知されてきており、利用者は増加傾向。市民が気軽に相談できる機会となっている。 ・課題：健康相談に来られる方が増え、受付後お待たせしてしまうことがある。				課題に対しての修正点 ・母と子の健康相談は予約制でないため、対応には時間がかかる場合があることを周知する。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和8年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（3）困難な状況に置かれている者への支援と多様性の尊重	①ひとり親家庭などの生活上の困難を抱えている者への支援 ②性の多様性への理解促進 ③どのような属性の人たちでも安心してくらせる環境整備	ひとり親家庭など生活上の困難を抱えているものへの支援	一人親家庭など生活上困難な状況に置かれている者に対する、それぞれが抱える課題に応じた包括的な支援を、関係機関・支援団体等との連携により推進します。	福祉課	母子父子自立支援員がひとり親家庭からの相談に応じ支援を行う。 離婚問題等での専門的な相談に対応するため、離婚前後親支援事業に取り組み、公正証書等の費用助成や弁護士相談を実施する。	実績状況（数値実績） ・養育費等の請求の取り決めについて、公正証書化するための助成制度のおよび助言を受けられる無料法律相談を実施した。 ・公正証書等の費用助成 0件（該当なし） ・ひとり親等無料法律相談 開催回数 3回 相談件数 9名 効果と課題 ・令和7年度は公正証書等の助成を受けた方はいなかった。 ・法律相談については好評であるところだが、1日に3件の相談を続けて受けていただくことは受託弁護士の負担が大きいため1日当たりの件数を減らすことを検討する。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	2	計画・内容（数値目標） ・公正証書等費用助成制度の実施 ・ひとり親等無料法律相談については回数を6回に増やして実施 課題に対しての修正点
				人権同和政策課	人権よろず相談を毎月開設。（年12回） 女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年 6回（相談件数 22件） 効果と課題 ・効果：相談者の悩みごとの解決の糸口となった。				計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談開設。（年12回） ・女性弁護士相談開設。（奇数月、年6回） 課題に対しての修正点
		性の多様性への理解促進	多様な性のあり方についての正しい理解による、多様性が尊重される環境づくりと、男女の性別二元論を前提とした身近な制度や慣行等の見直し、相談支援体制の整備に努めます。	人権同和政策課	人権よろず相談を毎月開設。（年12回） 女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年 6回（相談件数 22件） 効果と課題 ・効果：相談者の悩みごとの解決の糸口となった。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8	計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談開設。（年12回） ・女性弁護士相談開設。（奇数月、年6回） 課題に対しての修正点
				教育課	小中学校で多様な性のあり方について理解を進めるための学習の機会を設ける。 （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・副読本「あけぼの」の使い、小中学校で多様な性のあり方について理解を進めるための学習をした。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・多様な性のあり方についての正しい理解のため、学習の継続が必要。				計画・内容（数値目標） ・小中学校で多様な性のあり方について理解を進めるための学習の機会を設ける。 （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・各学校において、学習を実施する。
		どのような属性の人たちでも安心してくらせる環境整備	障がい者、外国人等、多様な属性の人々に対する正しい理解や、それぞれが持てる力を発揮し、自分らしく安心して生活できるよう、多様な就業機会や学習機会の提供、相談支援体制の整備、社会的孤立を防ぐための地域の支え合いを推進します。	人権同和政策課	障がい者・外国人への差別防止やLGBT等への理解を深めるための講演会や講座を開催する。より多くの方が参加できるよう、開催日時を検討する。	実績状況（数値実績） “あいとびあ”フォーラムのサテライト会場としてセミナーを開催した。 「地域でジェンダー平等を実現していくには」6月28日開催 参加者数12名） 効果と課題 ・広報等で周知をしたが、参加者が少なかった。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 9. 10	計画・内容（数値目標） ・男女共同参画の視点に立った学習会を開催する。 課題に対しての修正点 ・SNS等を活用し周知していく。
				商工観光課	商工団体等と連携し、障がい者や外国人等への正しい理解や、就業機会の創出に向けて講演会を開催する。	実績状況（数値実績） ・県が実施している「外国人材受入企業マッチング支援デスク」や長野県行政書士会が運営する「長野県外国人受入企業サポートセンター」等の周知を行った。 効果と課題 ・市内にどの程度受け入れ可能な事業所が存在するのかという実態把握ができておらず、マッチングまで実施することができない。				計画・内容（数値目標） ・県の事業等を周知するとともに、外国人・障がい者雇用に積極的な市内企業のデータベースの構築をすすめる。 課題に対しての修正点 ・事務局機能を持つ強みを活かし、会議等でのヒアリングを通じて潜在的な雇用意欲を持つ企業を掘り起こし、リスト化をおこなう。
				教育課	小中学校で障がい者、外国人等、多様な属性の人々に関する学習の機会を設ける。	実績状況（数値実績） ・副読本「あけぼの」を使い、小中学校で障がい者、外国人等、多様な属性の人々に関する学習をした。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・障がい者、外国人等、多様な属性の人々に対しての正しい理解をするため、学習の継続が必要。				計画・内容（数値目標） ・小中学校で障がい者、外国人等、多様な属性の人々に関する学習の機会を設ける。 （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・各学校において、学習を実施する。

基本目標 8 国際社会の動向の理解と協調 ※推進計画P52から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和7年度事業計画（事業名・内容）	令和7年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和8年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 国際 的視野に 立った事業 の取り組み	①諸外国の 事業把握と その活用 ②国際交流 の推進と協 調	国際的な動向の 情報提供・意識 啓発	男女共同参画に関する国際的な動向 についての情報を提供し、市民が国 際社会に関心を持ちながら、男女共 同参画意識を高めていくように努め ます。	人権同和政 策課	各種イベントや市報等で日本のジェンダーギャップ 指数についてお知らせする。	実績状況（数値実績） ・各種イベントや会議等でジェンダーギャップ指数について周知を図った。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.5	計画・内容（数値目標） ・各種イベントや会議等で引き続きジェンダーギャップ指数について周知を していく。
		国際交流の促進	市民の国際交流を深め、姉妹都市や 市内在住外国人との交流を促進し、 市内国際交流団体の活動を支援しま す。	地域づくり 支援課	マドラス市とのホームステイ事業における女性参画 の周知等（1回以上）	実績状況（数値実績） ・ホームステイ通訳等への女性参画の周知を図った。		B		① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c
		外国籍市民の支 援	外国語により情報提供や外国人コ ミュニケーターによる相談事業によ り外国籍市民が安心して生活できる よう支援します。	生活環境課	生活全般：ごみの出し方等 教育：小中学校の保護者・児童支援 子育て：保育園の保護者・児童支援 翻訳：市民への通知等	実績状況（数値実績） ・ゴミの出し方については、外国語の資料とホームページにより支援を行っ ている。「ごみ・資源物分け方・出し方ポスター」については英語、中国 語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語を配布。 ・外国人コミュニケーターが外国籍市民からの相談を窓口や電話等で受ける 他、学校や保育園に出向いて保護者等への通訳支援を実施するとともに、 市からの通知文等の通訳を行った。 令和7年度の相談件数：945件	B		① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	10
		外国語教育及び 国際理解教育の 推進	小中学校に外国語指導助手（A L T）を配置し、英語教育の充実を図 り、国際理解を促します。	教育課	英語専科教員及び外国語指導助手を配置し英語教育 の充実を図る。A L T 3名の配属し、外国の人たち と触れ合う機会を作り、文化の理解を図る。 （5小学校、2中学校）	実績状況（数値実績） ・外国語指導助手を配置し英語教育の充実を図る。東部中学校、北御牧中 学校に1名、滋野小学校、祢津小学校、北御牧小学校（1～4年）に1名、 田中小学校、和小学校、北御牧小学校（5・6年）に1名の計3名配属 し、外国の人たちと触れ合う機会を作り、文化の理解を図った。 （5小学校、2中学校で実施）		B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	10
						効果と課題 ・英語教育の充実を図るため、学習の継続が必要。				